

第4回
日本教育カウンセリング学会
研究発表大会
開催要項

大会テーマ

教師を支える教育カウンセリング

JECA

会期：平成18年11月18日(土)～19日(日)

会場：東京学芸大学小金井キャンパス

JR中央線武蔵小金井駅北口下車 パス10分(小平団地行乗車・学芸大正門下車)、又は徒歩25分
事務局：学会本部 Tel&Fax 03-3941-8049

第4回大会開催にあたって

大会実行委員長(日本教育カウンセリング学会理事長)

河野 義章(東京学芸大学教授)

日本の教育現場に、「発達課題を解きつつ成長する者を援助するのに役立つ知識と技法を提供する」ための教育カウンセラーの仕事に対する社会的認知が高くなりつつあります。これも、平素からの協会の着実な支部活動の充実と全国規模の学会へ寄せる皆様の期待の賜であります。

一歩外国へ出てみると、日本の学校の教師に学ぼうという動きがあります。まだ一部の教科ですが、日本の教科書が英語に訳され、文部科学省の学習指導書がインターネット上で販売されています。KENKYUJUGYOU がそのままキーワードとして受け入れられています。日本の教師はなぜ指導力が高いのか、それは研究授業を通しての現職教育のシステムがあるからだというわけです。

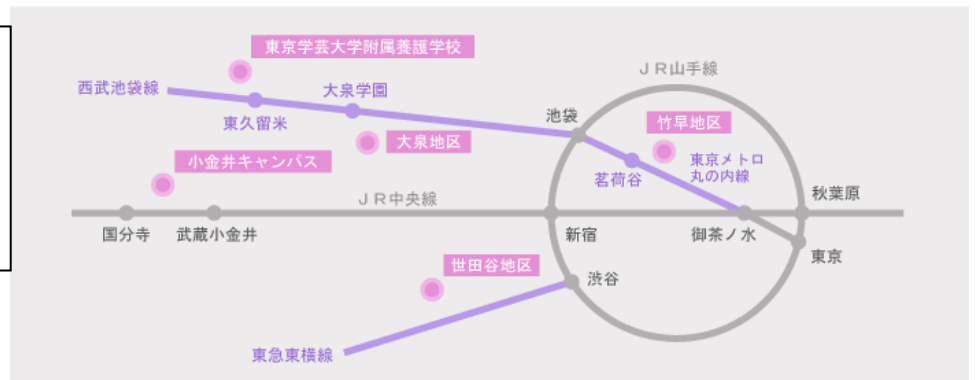
ところが、国内ではどうでしょう。学校、特にそこで働く教師に対する社会の風当たりは、たいへん強くなりつつあります。国際学力テストの結果から派生した低学力問題がこれに輪をかけました。初任者研修や10年研修でも足りずに、教員免許の更新も取りざたされています。教員給与の削減の声さえあります。実践力をつけるといわれています。

国内国外での日本の教師にたいする評価のギャップの大きさには驚かされます。バーンアウトして休職したり退職してしまった教師の数も一向に減る傾向が見られません。このままでは、日本の教師がますます疲れ果ててしまいます。

第4回の研究発表大会を東京学芸大学で開催するにあたり、テーマを「教師を支える教育カウンセリング」としました。教師に活力がなければ、山積している子どもたちの適応問題を予防し開発する仕事を担うことが難しくなります。参会のみなさまとともに、教師を支えるために教育カウンセリングの果たす役割を学び合いたいと願っております。

【会場略図】

会場が正門近くにあり、来校の節は武蔵小金井駅北口からの小平団地行バスに乗り、学芸大正門前で降車するのが便利です。(車で来校はご遠慮ください)



会場 東京学芸大学小金井キャンパス 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1

期日 平成18年11月18日(土) 13:00~18:00 ~ 11月19日(日) 10:30~15:30

対象 教育カウンセラー，認定ピアヘルパー，教育カウンセラー志望者および関係者

費用 大会参加費 会員（事前申込） 6,000円（論文集代を含む）
学生・ピアヘルパー 3,000円（論文集代を含む）
非会員（事前申込） 5,000円（論文集代は含まず）
情報交換会費（出席希望者のみ） 4,000円（ピアヘルパー2,000円）
会員当日参加費：5,000円(論文集代は含まず)
スーパービジョン希望者：3,000円（当日） *論文集のみは2,000円となります。

参加・発表等の申込方法

大会参加申込書に必要事項を記入の上，参加費を現金書留または郵便振替で10月13日(金)までに下記宛に郵送してください。後ほど参加証を送付いたします。ただし、ポスター・口頭・事例発表・自主シンポジウムについての発表希望者は、6月30日(金)をもって締め切らせて頂きます。また、スーパービジョンの受付は、先着順で、定員30名になり次第締め切らせて頂きます。発表を希望される方は特に締切にご注意ください

申込み先：〒112-0012 東京都文京区大塚 1-4-5 日本教育カウンセリング学会 大会係
電話/FAX：03-3941-8049 Email：jim@jeca.gr.jp
郵便振替口座：00160-5-463145（NPO 日本教育カウンセラー協会講座口 宛）

申込書は裏面にあります

日程・内容

第1日目 11月18日(土)

- 10:00~12:00 スーパービジョン(定員20名)
- 11:30~ 受付(芸術館)
- 13:00~14:00 個人発表 ポスター発表(芸術館)
 在席時間一人30分. 別紙要領でポスター・要項を作成してください。
 各支部の活動報告もポスター掲示していただきます。
- 14:20~14:40 開会式(芸術館)
- 14:40~15:40 記念講演(芸術館) 演題:『カウンセリングを通しての教師支援』(仮題)
 講師:三楽病院・精神神経科部長 中島一憲先生
- 16:00~18:00 シンポジウム(芸術館) 『教師を支える教育カウンセリング』
- 18:00~18:15 学会総会(芸術館)
- 18:30~20:30 情報交換会(会場:第2武蔵野ホール)

第2日目 11月19日(日)

- 9:00~ 受付(南講義棟S館)
- 9:30~10:10 スーパービジョン(定員10名)
- 10:30~12:30 個人発表 口頭発表
 発表時間1人20分(発表15分、質疑5分)、6人で1分科会編成予定
 別紙要領で大会論文集用発表論文(A4版2枚)を作成してください。
 事例発表 題目と発表要旨を別紙要領に沿ってお送りください
- 12:30~13:45 昼食(学内の食堂をご利用下さい)
- 13:45~15:45 ラウンドテーブル研修 テーマ別に、1時間研修, 1時間 シェアリング
 特別支援教育 不登校 非行 SGE
 キャリア教育 幼児教育 保健室 サポートグループ
 事例発表 題目と発表要旨を別紙要領に沿ってお送りください
 自主シンポジウム(会員企画シンポジウム)
 応募される方は、6月30日までに、代表者名、題目、趣旨、コーディネーターやシンポジスト名を、A4版2枚にまとめ提出してください。

2006年日本教育カウンセリング学会研究発表大会 参加申込書 平成18年 月 日

ふりがな 氏名		認定番号(会員番号)				所属・職名			
自宅住所 〒		Tel :				Fax :			
		11月18日(土)				11月19日(日)			
参加希望 該当欄に 印を付けて ください	スーパー ビジョン	大会	総会	情 報 交 換 会	スーパ ー ビ ジ ョ ン	大会	ラウンドテーブル		
							希望する ~ の 番号を記入		
発 表 希 望 ✓してください		ポスター 口頭 発表しない		事例発表 自主シンポ		発表内容・テーマ ビデオプロジェクターを使用(する・しない)			
送 金 額 ✓してください		会員参加費(論文集を含む): 6,000円 非会員参加費(論文集は含まず): 5,000円、 学生参加費(ピアヘルパー・論文集を含む): 3,000円 情報交換会費(会員・非会員): 4,000円 情報交換会費(ピアヘルパー): 2,000円					合計額 円		

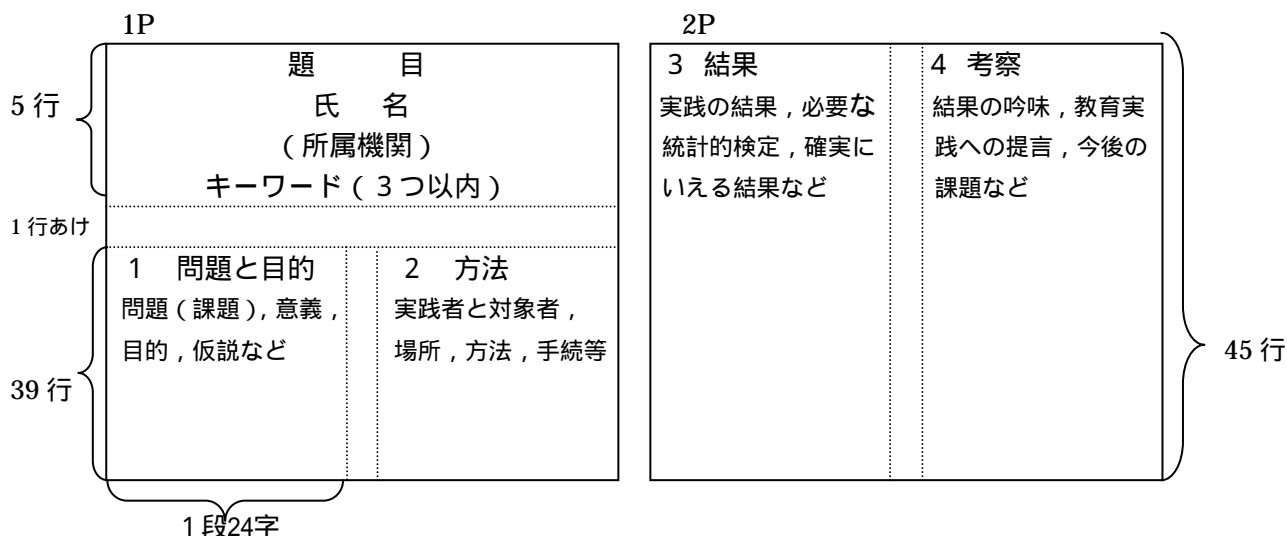
実践研究発表論文集印刷原稿の作成および発表について

今回の研究発表には「口頭発表」「ポスター発表」「事例研究」「自主シンポジウム」があります。発表内容はいずれも論文集に掲載されます。（「事例研究」は個人情報保護の立場から、発表者氏名と題目のみ掲載します）

発表方法は、口頭発表は分科会場で20分の持ち時間（発表15分、質疑5分）で行います。ポスター発表はポスター発表会場で、30分以上の責任在席時間を設け、参加者との質疑応答や意見交換を行います。「事例研究」は口頭発表と同じですが、資料は回収できるよう配慮して下さい。発表する内容によっていずれかを選択し、下記の要領で原稿（版下）を作成してください。〻切りは8月20日（日）です。

1. 口頭発表の場合

- (1) 論文の内容は、カウンセリングの理論を述べるのではなく、実践研究を主にしたものをお願いします。
- (2) 原則として、下記の例示のように、研究・実践の目的、方法、結果、考察および結論の各項に分け、明確に記述するようにしてください。例えば、「結果の詳細は発表の際に述べる」などと書くことのないようにお願いいたします。
- (3) 提出論文については、提出論文をそのままコピーする関係もあり、論文の内容や誤字・脱字を含めて原則的には自己責任とします。しかし、今回からは、次のような基準で審査し、ある程度、審査基準に達したものを論文集に掲載します。したがって、論文の修正を求めたり、論文が不採択となるケースもありますことを念頭におかれませうようお願い申し上げます。
論文審査基準 本協会倫理綱領の理解、問題の把握、文献レビューの内容と質、研究方法の適切さ、研究結果の適切さ、考察の適切さ、論文の全体的な構成・論理展開など、
- (4) パソコン又はワープロで印字し、和文は全角文字にて濃い黒字で印字してください。
- (5) 用紙は必ずA4判を使用してください。
- (6) ページ余白は天地・左右とも15mm以上とるようにしてください。字数は、24×45行×2段を基本とし、2ページ分見開きで作成してください。具体的な記入方法は、下図の通りです。



(7) 題目・氏名・所属・本文の記入方法

「題目」は、第1行、第2行を用い4字分を1マスに使う(4倍角程度)大きく書いてください。

「氏名」は、第3行に1マス1字当てで記入し、連名の場合は、発表者の氏名を続けて書いてください。

「所属」は、第4行目を用い、同一の所属(同一の学校、研究所、その他の機関)の場合は氏名の下に括弧でくくってください。連名の発表で所属の異なる場合は、その他の発表者の氏名の下に括弧でくくって記入してください。

「キーワード」は論文の内容を端的に表す言葉を記入してください。

「本文」は、キーワードの行から1行あけたところ(第7行目)から書きはじめてください。題目の字数、あるいは副題などの関係から、上記の行数が若干変わることがあっても構いません。

(8) 発表当日

受付について

大会参加受付を済ませ、各分科会会場に10時15分までに入室してください。分科会会場の座長が点呼を取ります。(やむを得ない事情で集合時間に間に合わないときは、事前に大会本部まで申し出てください。連絡が無い場合、発表取り消しとすることもあります。)

発表について

15分間発表し、5分間の質疑応答、まとめの総括質疑に参加することにより発表と認められます。

また、発表者が欠席した場合は「発表取り消し」とみなします。連名発表者がいる場合には事前に申請のあった場合のみ連名発表者を発表者として認めます。欠席等の連絡は、事前には大会実行委員会事務局（協会本部）、当日は大会本部（090-8005-4008：大会当日のみ）にお願いします。

資料について

論文集以外のハンドアウト資料等を用意する場合には、各自で準備し、各分科会の座長に提出してください。各会場の運営委員が配布します。大会本部ではコピー印刷などは受け付けません。部数が不足することが無いよう、十分な部数（50部程度）を用意することをお勧めします。

使用機材について

大会会場では、ビデオプロジェクターが使用できます。ノートパソコンを持参して下さい。

2. ポスター発表の場合

(1) 論文集掲載の書式・内容及び原稿締め切りについては、上記の口頭発表と全く同じです。

(2) 発表スペースについて

発表者には、縦180cm、横90cmのスペースが割り当てられます。この枠内に全てのポスターが収まるようにしてください。また、ポスターの最上部には、発表題目、発表者氏名、所属を記入した紙を貼って下さい（目安は縦15cm、横90cmです）。ポスターの文字サイズは特に指定しませんが、1～2m離れても読める大きさを目安にしてください。

(3) 受付とポスターの貼付について

ポスター発表会場に発表専用の受付を設置します。在席責任時間にかかわらず、12時30分までに受付に登録し、貼り付け用の文具類と発表者リボンを受け取ってください。また、ポスターは、自分の番号のポスター板（プログラム参照）に、画鋏やセロハンテープで貼付し、作業は12時50分までには完了するようにしてください。

(4) 発表について

発表は、1時間の発表時間中ポスターを掲示し、在席責任時間として指定された30分間の間質疑に応ずることにより発表と認められます。ただし、在席責任時間以外の30分間もできるだけ在席することが望まれます。また、発表者が欠席の場合は「発表取り消し」とみなします。連名発表者がいる場合は、事前に申請のあった場合のみ連名発表者を発表者として認めます。欠席等の連絡は、事前には大会実行委員会事務局（協会本部）、当日は大会本部（090-8005-4008：当日のみ）にお願いします。

(5) 資料について

掲示するポスター以外のハンドアウト資料等を用意する場合は、各自で準備・配布してください。なお、大会本部では、コピーとりなどは受け付けません。

(6) 片づけについて

全てのポスター発表時間終了後、10分以内に発表資料を撤去し、会場を退出してください。撤去されなかったポスターは大会本部で処分します。

3. 事例発表の場合

(1) A4版用紙に、題名、発表者氏名、発表要旨(400字)を横書きで提出してください

(2) 当日の発表資料については、クライアントのプライバシーに十分配慮しながら、次の例を参考に、事例の構成をまとめてください。

タイトル(キーワードを含むようにする)、要約(事例の特色、クライアントとの関係、援助回数・時間、援助過程や結果・結論) 目的(目的・意図、先行研究など)、事例の概要(主訴、生育環境と生育歴、事例の経過など)、アセスメントと援助方針(問題点の分析、援助方法の検討など)、援助過程(期間や変化に応じ分けて記述)、考察(意図に即して確実に分かったこと、それ以外に分かったこと、研究の問題点と今後の課題など)、文献(引用文献・参考文献)

(3) 仮名を使用するなど、プライバシーには最大限配慮してください。

(4) 資料は、発表後必ず回収するようにしてください。

4. 自主シンポジウムについて

応募される方は、6月30日までに、代表者名、コーディネーター・シンポジスト名(含む所属)、題目・企画趣旨・討論の意図・課題等を、A4版2枚にまとめ提出してください。(大会実行委員会で審査の上ご連絡します。)会場の都合上、申し込み多数の場合は、ご希望に添えない場合があります。